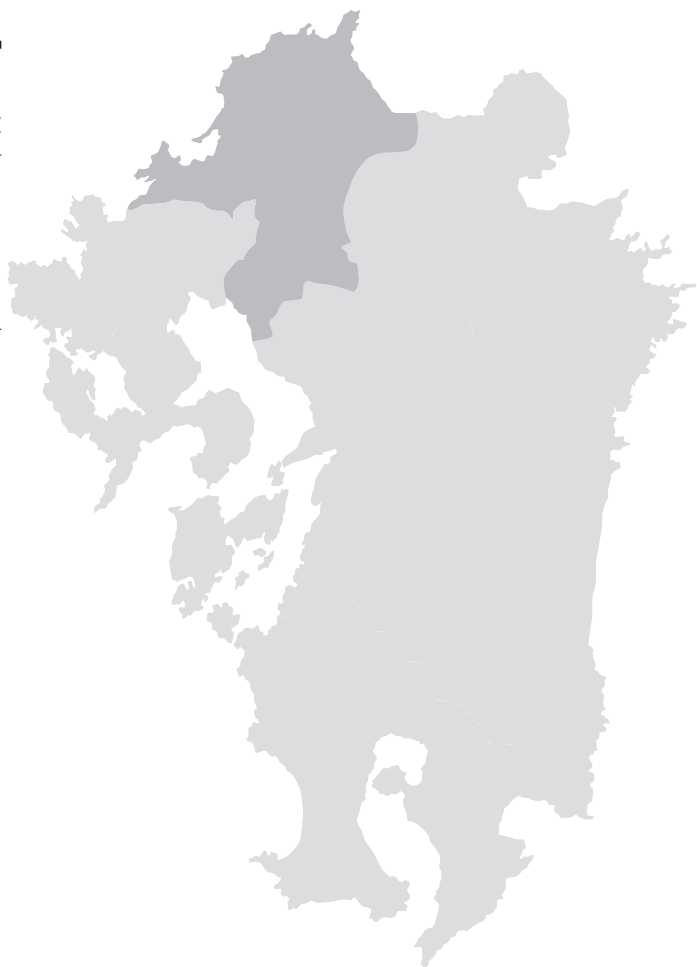


第 1 章

福岡



日本のモノづくりを支える  
九州の  
元気企業45社

## 自動車産業を救う金型ドクター

### (株)大阪精密

ドクターが金型を治療します。大阪精密（大阪府八尾市）の北野社長は、同社行橋工場（福岡県行橋市）で主に海外製自動車用金型の修理を行っている。日産自動車九州（同苅田町）など自動車産業が多数集積する福岡県には2009年に進出した。以来需要が好調で、15年には大型化に対応する目的で工場を市内移転した。親子クレーンやダイスポッティングプレスなどを導入するなどさらに業容を拡大している。

#### 社・理念

「愛のある物づくり、愛情のある金型ドクターとして活動する事で、物づくり日本の社会に貢献する」を経営理念に掲げる。「脱デジタル、復活アナログ!」を目標に、一品一品技能者が手作業で作業する。精密溶接技術と仕上げ職人技術による安価・短納期は他社の追随を許さない。



代表取締役

北野 綱一氏

## ■愛あるモノづくりを目指して

08年のリーマン・ショック前、北野社長は悩んでいた。地元・大阪の不況は深刻で、自動車や家電向け金型では利益が上がらない。「いっそ海外で出直そうか」とタイやベトナムも視察したが、地盤はない。そんな時、知人からの助言もあり九州が目に残まった。「自動車の生産拠点が集積している。チャンスかもしれない」と、地縁血縁の全くない地に単身乗り込んだ。

読みはズバリ当たった。九州は自動車生産地ながら金型の修理を手がける企業がなく、進出当初から問い合わせが相次ぎ、需要は右肩上がりに成長した。多い時は月に50型ほどの修理依頼があるが多すぎて対応できない。大型品も増えて依頼を断わるケースが相次いだため、15年には同じ行橋市内に工場を移転。15トンまでの中・大型金型の修理



移転後の行橋工場には大型設備が数多く置かれた



時には顕微鏡を使った修理も行われる

を始めた。

移転後の新工場の天井高は11mと、旧工場の2倍近い。新たに15トン／7・5トンの親子クレーンのほか、ダイスポットティングプレスや大型放電加工機、門型マシンングセンターなどの設備投資を続けて、大型品の修理を請け負っている。北野社長は「移転して受注がさらに増えた。注文はできるだけ断らないようにしたい」と話し、九州だけでなく中国地域まで広域に対応している。

北野社長は14年から大分県立工科短期大学校で金型保全技術者育成講座の講師も務めるなど、人材育成にも熱心に取り組んでいる。製品だけでなく人も育てるドクターは東奔西走の日だ。

## 町医者から ER に

**九** 州進出前は「大阪精密でなくてもいい」と言われていたが、今では大阪でも九州でも「大阪精密でなくては」と言われるようになったのがうれしいとか。2011年には「金型ドクター」を商標登録し、バリ修理や破損などの不具合に祝日も対応している。その取り組みはもはやドクターというより、ER（救急医療）に近い。



## 会社概要

所在地：福岡県行橋市大字延永 62-5（行橋工場）

電話：0930-28-9012

設立年月：1957年4月

業種：金型製作、修理、改造

売上高：3億円（2016年7月期）

事業所：大阪府八尾市（本社）

URL：<http://www.osaka-seimitu.co.jp/>

プロ集団が生み出す一品一様の  
セラミックス部品

## 大塚精工(株)

大塚精工は金属やセラミックスの超精密加工を強みとする部品加工メーカー。スマートフォン向け製造装置の電子部品を中心に、医療機器や半導体、航空宇宙産業まで幅広く対応している。大学など研究機関から試作段階の部品を請け負うこともある。大量生産ではなく、究極の一品々を目指した設備ラインを構築することで、同社にしかできない高付加価値部品を生み出す。

### 社・理念

理念には「人間の温かい心と優れた技術の調和」を掲げる。大塚精工の社員は創業以来「クラフトマン」としての意識を持つ。モノづくりを通して社会に貢献するという強い思いが、超精密加工を可能にしている。



代表取締役社長

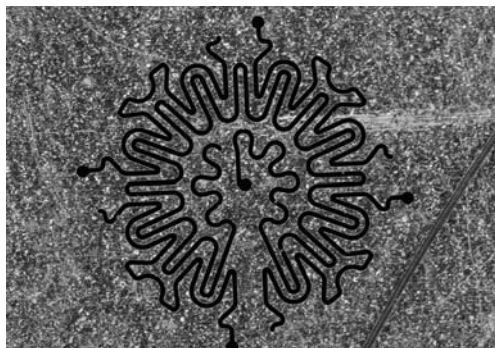
井石 雄一氏

## ■加工技術の数値化でさらなる飛躍へ

1983年5月、工作機や組み立てで用いる治工具製造から出発した。当初は秘密保持の関係もあり大手部品メーカーの専業に近い経営体制を取っていた。2000年ごろから少しずつ業態を変え、現在は新潟と埼玉に営業所を構え、関東地域をカバー。超精密加工、微細加工、セラミックス精密加工の大きく3分野を手がける。

07年に社長に就任した井石雄一氏は現場技術者からのたたき上げ。「セラミックスの伸びしろは大きい」と需要拡大を見込み、同事業に重きを置いた経営方針を採る。セラミックス未使用のメーカーへの営業や新分野の開拓によって、現在35%程の同分野売り上げを将来は50%程度に引き上げる考えだ。

同社の成長の源泉となっているのが、毎朝10時に開く工



ワイヤ放電加工による超微細加工で髪の毛より細いスリット模様を可能にする